

託送供給等約款の変更認可申請について

関西電力送配電株式会社 2023年12月20日

託送供給等約款の変更認可申請について

- 当社は、「託送供給等に係る収入の見通し」を本年9月29日に経済産業大臣に変更承認申請し、11月 24日に「収入上限」として承認を受けました。
- 今回の託送供給等約款(以下「約款」といいます。)の変更認可申請では、国の審議会における整理に基づき、2024年4月より発電側課金制度を導入することに伴い、当該内容に係る供給条件の設定等を行うとともに、承認を受けた「収入上限」を踏まえ、発電側課金単価の設定および需要側託送料金単価の見直しを行いました。
- また、国の審議会等における議論内容等を反映すべく、**約款の規定見直し**を行っています。

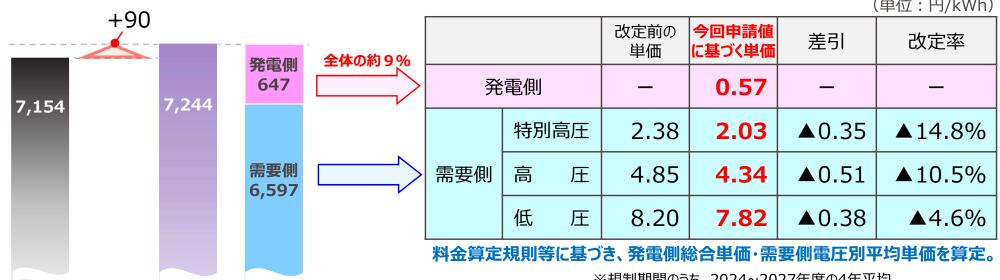
1. 託送料金原価等の見直し (P. 3)	・ <u>収入上限を基に</u> 、経済産業省令「一般送配電事業託送供給等約款料金算定規則」(以下「料金算定規則」といいます。)に基づき、 <u>託送</u> 料金原価等の見直しを行いました。
2. 発電側課金単価の設定・ 系統設備効率化割引の 設定 (P. 4)	• 見直し後の託送料金原価を基に、 発電側課金における基本料金単価 と電力量料金単価を設定 しました。また、国の審議会等の整理に基づき、送配電設備の投資効率化および潮流改善に資する電源に対する 系統設備効率化割引を設定 しました。
3. 需要側託送料金単価の 見直し (P. 5、6)	見直し後の託送料金原価を基に、需要側託送料金メニューごとの 基本料金単価と電力量料金単価等を設定しました。
4. 約款規定の見直し (P. 7)	• 国の審議会等における議論内容等を反映すべく、発電側課金制度に 係る 供給条件の設定等、約款規定の見直し を行いました。

1. 託送料金原価等の見直し

- 本年11月24日に承認を受けた収入上限は、2022年12月に国の承認を受けた収入の見通しについて、 その時点では反映ができなかった外生的な費用変動等を期中で反映した結果7,244億円/年となり、前回 の収入の見通し7,154億円/年から、約90億円/年増加しました。
- 料金算定規則において、収入上限を託送料金原価に整理し、発電側および需要側の特別高圧・高圧・ 低圧の3電圧へ配分する方法が規定されており、発電側と需要側への配分ルールに基づき算定した結果、 発電側原価は、647億円/年、需要側原価は、6,597億円/年となりました。
- また、需要側の電圧別配分ルールに基づき算定した結果、**特別高圧の改定率は▲14.8%、高圧の改 定率は▲10.5%、低圧の改定率は▲4.6%**となっています。

■ 発電側総合単価·需要側電圧別平均単価

(単位:円/kWh)



(単位:億円/年)

※規制期間のうち、2024~2027年度の4年平均。

- ※単価は消費税等相当額を除く。
- ※改定率は、電圧ごとの改定前後の原価差にて算定しています。

2.発電側課金単価・系統設備効率化割引の設定

- 発電側課金単価は、料金算定規則等に基づき、**基本料金で回収する費用と電力量料金で回収する** 費用が等しくなるように料金単価を設定しました。
- また、発電側課金の負担額を軽減する割引として、**基幹系統の投資効率化や送電ロス削減効果に着目** した割引 A (3区分)と、特別高圧系統の投資効率化効果に着目した割引 B (2区分)を設定しました。
- なお、発電側課金制度の導入に伴い廃止となる需要地近接性評価割引については、発電側課金制度 開始時点で割引の適用を受けている電源に対して、次の割引対象地域の見直しまでの間、引き続き割引 対象とする経過措置(注1)を設定しました。

<発電側課金単価> ※単価は消費税等相当額を含む。

	基本料金単価	電力量料金単価
	(円/kW)	(円/kWh)
発電側課金		
(系統連系受電	97.98	0.32
サービス料金)		

<割引対象変電所等の約款規定イメージ> 約款別表2系統設備効率化割引の対象変電所等

割引区分	割引対象変電所等	箇所数
A – 1	信貴変電所	1
A – 2	西京都変電所,南京都変電所・・・・・	21
A – 3	北摂変電所,猪名川変電所・・・・・	24
B – 1	有馬変電所,城見変電所・・・・・	265
B – 2	上本町変電所,岡町変電所・・・・・	285

※割引なしを含む変電所等の合計数:928箇所。

※詳細は約款変更認可申請書による。

<系統設備効率化割引単価> _{※単価は消費税等相当額を含む。}

	割引区分		割引単価(円/kW)
	受電電圧が標準電	A-1	32.19
	圧140kVを超える 場合 (A-2·A-3の割 引単価は半額となる。)	A-2	5.78
		A-3	2.89
 系統設備	上記以外の場合	A-1	32.19
効率化割引		A-2	11.55
		A-3	5.78
	B-1		60.35
	B-2		21.92

(注1)需要地近接性評価割引の経過措置について

・経過措置期間中は、経過措置対象電源のうち、発電側課金の割引単価が A-2・B-2を下回る電源に対して、割引区分A-2・B-2の割引単価を適用します。 なお、2016年4月1日から暫定的に割引を適用している電源については、2024 年4月1日以降の経過措置対象電源から除きます。

3. 需要側託送料金単価の見直し

- レベニューキャップ制度では、一般送配電事業者として必要な投資の確保とコスト効率化を両立させ、 再エネ主力電源化やレジリエンス強化を含む安定供給等を実現させることを目的としており、人口減少や 省エネルギーの進展等により、将来の電力需要の減少が想定される中においても、**高度経済成長期に** 整備した送配電設備の更新や、カーボンニュートラルに資する再エネ電源の導入拡大への対応による 送配電ネットワークの増強、設備・運用の高度化等への投資を着実に実施していく必要があります。
- これらの投資は、**固定的な費用が大半**であるため、**電力量の増減影響を受けにくい基本料金への反映 を基本**としています。**基本料金の割合が高まることで、需要者の皆さまへ効率的な電気の利用**※1 を **促す**ことになり、その結果、**最大電力が抑制され、将来的には当社の送配電設備に係る費用が低減し、 低廉な託送料金の実現**につながると考えています。
 - ※1 効率的な電気の利用・・・需要者の皆さまが、ご利用される機器の使用時間をずらすことなどで、負荷の平準化を図ること。
- 今回の需要側託送料金の見直しにあたっては、**発電側に配分される原価の減額分を電力量料金単価に 反映**することで、**基本料金単価を据え置き、電力量料金単価を値下げ**としました。

<需要側託送料金単価(標準)>

※括弧内は改定前との差。単価は消費税等相当額を含む。

		基本料金単価 (円/kW)	電力量料金単価 (円/kWh)	基本料金収入比率 (%)
	低圧(電灯)	290.40 (±0.00)	7.62 (▲0.45)	11.8 (+0.5)
需要側託送料金	低圧(動力)	460.90 (±0.00)	4.69 (▲0.44)	52.7 (+2.2)
(標準)	高 圧	663.30 (±0.00)	2.29 (▲0.57)	52.2 (+5.5)
	特別高圧	440.00 (±0.00)	0.84 (▲0.40)	57.4 (+8.5)

需要側託送料金・各電圧の平均月間使用量における改定影響

【低圧電灯における需要側託送料金影響(標準接続送電サービス)】

(単位:円/kW,円/kWh,円/月) ※消費税等相当額を含む。

契約電力	ひと口あたり
[kW/月]	電力量[kWh/口・月]
6kW以下	300

改定前			
基本料金単価電力量料金単価			
290.40	8.07		
託送料金			
2,711			

今 回		
基本料金単価	電力量料金単価	
290.40(±0.00)	7.62(▲0.45)	
託送料金(改定)	前からの変動額)	
2,576 (▲135)		

【低圧動力における需要側託送料金影響(標準接続送電サービス)】

(単位:円/kW,円/kWh,円/月) ※消費税等相当額を含む。

契約電力 [kW/月]	使用量 [kWh/月]	原単位 (稼働時間) [h/月]
6	420	70

改定前		
基本料金単価	電力量料金単価	
460.90	5.13	
託送料金		
4,920		

今 回		
基本料金単価	電力量料金単価	
460.90(±0.00)	4.69(▲0.44)	
託送料金 (改定前からの変動額)		
4,735 (▲185)		

【高圧における需要側託送料金影響(標準接続送電サービス)】

(単位:円/kW,円/kWh,円/月) ※消費税等相当額を含む。

契約電力 [kW/月]	使用量 [kWh/月]	原単位 (稼働時間) [h/月]
120	27,500	229

改定前		
基本料金単価	電力量料金単価	
663.30	2.86	
託送料金		
146,306		

今 回		
基本料金単価	電力量料金単価	
663.30(±0.00)	2.29(▲0.57)	
託送料金(改定前からの変動額)		
130,631 (▲15,675)		

※力率は100%として算定

【特別高圧における需要側託送料金影響(標準接続送電サービス)】

(単位:円/kWh,円/kWh,円/月) ※消費税等相当額を含む。

契約電力 [kW/月]	使用量 [kWh/月]	原単位 (稼働時間) [h/月]
5,000	1,560,000	312

改定前		
料金単価電力量料金単価		
1.24		
託送料金		
3,804,400		

	今 回		
	基本料金単価	電力量料金単価	
	440.00(±0.00)	0.84(\blacktriangle 0.40)	
N.	託送料金 (改定前からの変動額)		
	3,180,400 (▲624,000)		

4. 約款規定の見直し

○ 国の審議会等における議論内容等を反映すべく、**発電側課金制度に係る規定の追加等、供給条件に 関する約款規定の見直し**を行いました。

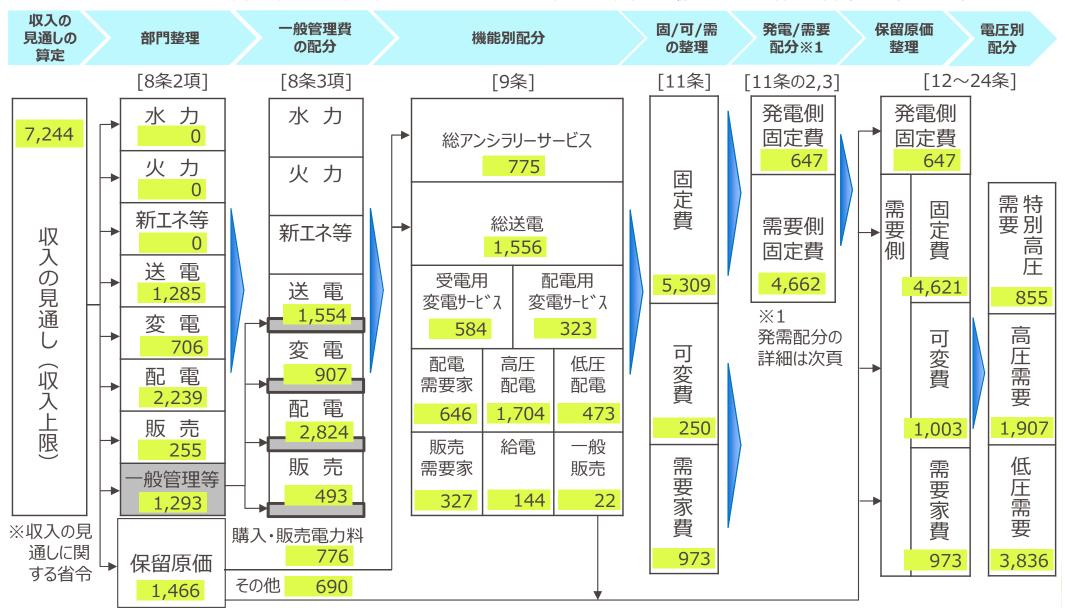
<主な見直し内容>

項目	改定内容
発電側課金制度 の導入	発電側課金について、発電量調整供給契約の仕組みを活用して料金をお支払いいただくことや発電バランシンググループに属する発電者は原則、発電契約者を通じて料金をお支払いいただくこと等が整理されたため、供給条件に反映するものです。
需要側託送料金 における制限中 止割引の廃止	制限中止割引とは、自然災害に伴う送配電設備の故障や設備保全工事等による停電など、需要者の電気の使用を制限または中止する場合に基本料金を割り引くものですが、需要側託送料金の制限中止割引を廃止することで相応の業務効率化効果が期待できることを踏まえ、2025年3月31日をもって廃止することとし、それまでの間は経過措置として引き続き当該割引を継続することを供給条件に反映するものです。
一次調整力の 機能のみを提供 する電源等の扱 い	一次調整力を単一調整力として落札した場合には、需給調整市場に関する契約による 調整電力量の精算は行わず、約款におけるインバランスに包含して精算すると電力広域 的運営推進機関(以下「広域機関」といいます。)の検討会等で整理されたことから、 約款におけるインバランスの算定上、当該電源等を調整電源または調整負荷として扱わ ない旨を供給条件に反映するものです。
翌々日計画の 提出	2024年度から、広域機関における需給注意報発出要否の検討において、翌々日断面 の広域予備率の算出が必要であり、各事業者の翌々日計画の提出が求められたことから、 当該計画の提出に係る内容を供給条件に反映するものです。
系統連系技術 要件の見直し	系統に接続される電源等が従うべき技術要件(グリッドコード)について、自家用電気工作物へのサイバーセキュリティ対策に係る要件の追加や、低圧分散型電源の逆潮流や電圧変動対策に関する要件等が変更されたため、当該内容を約款別冊の系統連系技術要件に反映するものです。

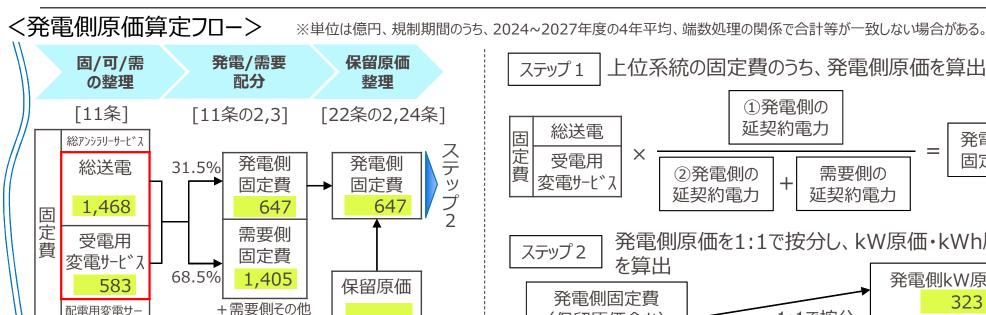
(参考) 費用配賦(個別原価計算)の概要

○ 個別原価計算は、費目ごとに積み上げた総原価をその機能や性質に応じて発電側と需要側の特別高 圧・高圧・低圧の需要種別に配賦するプロセスであり、料金算定規則に計算ルールが規定されています。

※単位は億円、規制期間のうち、2024~2027年度の4年平均、端数処理の関係で合計等が一致しない場合がある。



発電側原価・発電側比率の算定結果



上位系統の固定費のうち、発電側原価を算出 ステップ 1 ①発電側の 延契約電力 総送雷 古 発電側 I定費 受雷用 固定費 ②発電側の 需要側の 変電サービル 延契約電力 延契約電力 発電側原価を1:1で按分し、kW原価・kWh原価 ステップ 2 を算出 発電側kW原価 発電側固定費 323 1:1で按分 (保留原価含む) 発電側kWh原価 647 323

<算定諸元・発電側比率(ステップ1で使用)>

ステップ 1

固定費(3,258)

ビス他

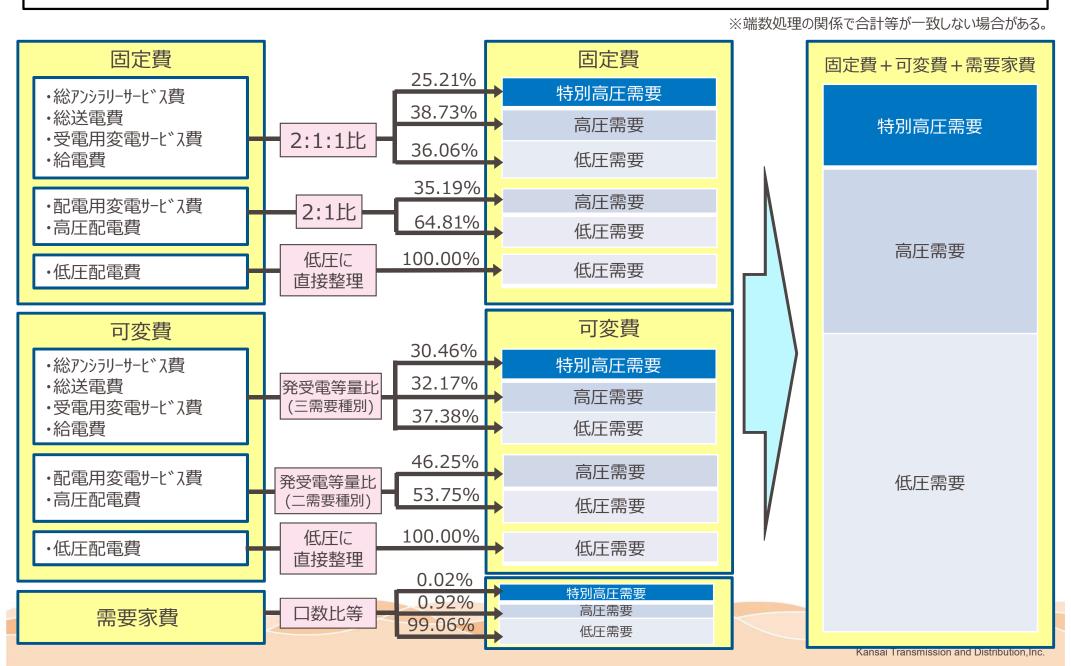
※算定諸元は、規制期間のうち、2024~2027年度の4年平均。

発電側の延契約電力		需要側の延契約電力	発電側比率	
① (1	0 ³ kW)	② (10 ³ kW)	(10³kW)	(%)
	391,958	473,291	769,665	31.5

- ・発電側の延契約電力①は、料金算定規則に基づき、供給区域内の発電量調整供給契約等に係る発電側の契約電力から当該同一地点 の接続供給契約等に係る需要側の契約電力を差し引いた値を合計して得た値に相当する値から、2024年3月31日までに認定を受けてい る(入札制度における落札者の決定を受けたものを含む)FIT・FIP(設備上利用できる電力の最大値が10kW未満であるものを除く)に 係る発電側の延契約電力に相当する値および設備上利用できる電力の最大値が10kW未満である発電側の延契約電力に相当する値を 差し引いた値
- ・発電側の延契約電力②は、料金算定規則に基づき、供給区域内の発電量調整供給契約等に係る発電側の契約電力から当該同一地点 の接続供給契約等に係る需要側の契約電力を差し引いた値を合計して得た値に相当する値から、設備上利用できる電力の最大値が 10kW未満である発電側の延契約電力に相当する値を差し引いた値
- ・需要側の延契約電力は、料金算定規則に基づき、接続供給契約または最終保障供給契約に係る月ごとの契約電力を合計して得た値

(参考) 需要側・電圧別配分イメージ

○ 固定費・可変費・需要家費に整理された収入の見通しについては、料金算定規則に記載の配分ルールに 基づく各諸元により特別高圧・高圧・低圧へ配分しています。



(参考) 需要側・2:1:1比率の算定結果

<算定諸元>

※算定諸元は、規制期間(2023~2027年度)の5年平均。

	最大電力	尖頭時責任電力(10³kW)		発受電等量
	(10³kW)	夏期	冬期	(10 ⁶ kWh)
特別高圧	6,763	6,644	5,785	43,333
高 圧	11,820	11,743	9,842	45,764
低 圧	10,457	8,784	9,317	53,181
合 計	29,040	27,171	24,944	142,278

<各諸元の需要種別毎のウエイトおよび2:1:1比>

	最大電力	尖頭時責任電力		発受電等量
	取人电力	夏期	冬期	光文电守里
特別高圧	23.2898 %	24.4524 %	23.1912 %	30.4566 %
高 圧	40.7023 %	43.2179 %	39.4578 %	32.1650 %
低 圧	36.0079 %	32.3297 %	37.3510 %	37.3784 %
合 計	100.0000 %	100.0000 %	100.0000 %	100.0000 %

2:1:1比		
25.2145 %		
38.7269 %		
36.0586 %		
100.0000 %		

<2:1:1比の算定例(低圧の場合)>

低圧の2:1:1比「%]

- = (最大電力比×2 + 発受電等量比×1 + 夏期尖頭時責任電力比×0.5 + 冬期尖頭時責任電力比×0.5)/4
- $= (36.0079\% \times 2 + 37.3784\% \times 1 + 32.3297\% \times 0.5 +$

37.3510 %×0.5) /4

= 36.0586 %

(参考) 需要側・2:1比率の算定結果

<算定諸元>

※算定諸元は、規制期間(2023~2027年度)の5年平均。

	延契約電力 (10³kW)	発受電等量 (10 ⁶ kWh)
高 圧	201,982	45,764
低 圧	478,959	53,181
合 計	680,941	98,945

<各諸元の需要種別毎のウエイトおよび2:1比>

	延契約電力	発受電等量
高 圧	29.6622 %	46.2517 %
低 圧	70.3378 %	53.7483 %
合 計	100.0000 %	100.0000 %

2:1比	
35.1920 %)
64.8080 %)
100.0000 %)

<2:1比の算定例(低圧の場合)>

低圧の2:1比[%]

- = (延契約電力比×2 + 発受電等量比×1)/3
- $= (70.3378 \% \times 2 + 53.7483 \% \times 1)/3$
- = 64.8080 %

(参考) 料金単価表・発電側

■系統連系受電サービス料金

※単価は、消費税等相当額を含む。

	単位	申請単価
基本料金	1kW	97円98銭
電力量料金	1kWh	32銭

■系統設備効率化割引 A

(a) 受電電圧が標準電圧140,000ボルトをこえる場合

※単価は、消費税等相当額を含む。

		単位	申請単価
割引区分	A-1	1kW	32円19銭
	A-2	1kW	5円78銭
	A-3	1kW	2円89銭

(b) (a)以外の場合

※単価は、消費税等相当額を含む。

		単位	申請単価
割引区分	A-1	1kW	32円19銭
	A-2	1kW	11円55銭
	A-3	1kW	5円78銭

■系統設備効率化割引 B

		単位	申請単価
割引区分	B-1	1kW	60円35銭
	B-2	1kW	21円92銭

(参考)料金単価表・需要側(低圧電灯)

■低圧 接続送電サービス料金(電灯)

※単価は、消費税等相当額を含む。

							·4.10131616160°
				単位	改定前単価 (①)	申請単価 (②)	差引 (②-①)
			10Wまで	1灯	34円56銭	32円95銭	▲1円61銭
		10	Wをこえ20Wまで	1灯	69円12銭	65円88銭	▲3円24銭
	 電灯料金	20	Wをこえ40Wまで	1灯	138円26銭	131円76銭	▲6円50銭
 電灯定額	电闪 件立 	40	Wをこえ60Wまで	1灯	207円38銭	197円64銭	▲9円74銭
接続送電		60'	Wをこえ100Wまで	1灯	345円64銭	329円41銭	▲16円23銭
サービス		100W	をこえる100Wまでごとに	1灯	345円64銭	329円41銭	▲16円23銭
			50VAまで	1機器	103円24銭	98円38銭	▲4円86銭
	小型機器 料金	50V	/Aをこえ100VAまで	1機器	206円47銭	196円78銭	▲9円69銭
	1,477	100VA	たこえる100VAまでごとに	1機器	206円47銭	196円78銭	▲9円69銭
	基本料金	実量契約	最初の6kWまで	1送電サービス	290円40銭	290円40銭	±0銭
 電灯標準			6kWをこえる1kWにつき	1kW	96円80銭	96円80銭	±0銭
接続送電		主開閉器	最初の6kVAまで	1送電サービス	240円90銭	240円90銭	±0銭
サービス		契約	6kVAをこえる1kVAにつき	1kVA	80円30銭	80円30銭	±0銭
		電力量		1kWh	8円07銭	7円62銭	▲45銭
		₽ ₽±776/h	最初の6kWまで	1送電サービス	290円40銭	290円40銭	±0銭
 電灯	甘士拟众	実量契約	6kWをこえる1kWにつき	1kW	96円80銭	96円80銭	±0銭
電力 時間帯別	基本料金	主開閉器	最初の6kVAまで	1送電サービス	240円90銭	240円90銭	±0銭
接続送電		契約	6kVAをこえる1kVAにつき	1kVA	80円30銭	80円30銭	±0銭
サービス	雨七	電力量料金		1kWh	8円65銭	8円13銭	▲52銭
		里 什立	夜間時間	1kWh	7円44銭	7円07銭	▲37銭
	電灯紅	芷量接続送電	サービス	1kWh	12円85銭	12円39銭	▲46銭
Kansai Transmission ar							

Kansai Transmission and Distribution, Inc.

(参考) 料金単価表・需要側(低圧動力)

■低圧 接続送電サービス料金(動力)

				単位	改定前単価 (①)	申請単価 (②)	差引 (②-①)
動力標準	基本料金	実量	契約	1kW	460円90銭	460円90銭	±0銭
接続送電	基 个件立	主開閉	器契約	1kW	378円40銭	378円40銭	±0銭
サービス		電力量料金			5円13銭	4円69銭	▲44銭
動力	東		契約	1kW	460円90銭	460円90銭	±0銭
時間帯別	基本料金	主開閉	器契約	1kW	378円40銭	378円40銭	±0銭
接続送電サービス	高上目	旱蚁仝	昼間時間	1kWh	5円47銭	4円97銭	▲50銭
9-64	電力量料金 夜間時間		1kWh	4円75銭	4円37銭	▲38銭	
	動力従量接続送電サービス			1kWh	12円69銭	12円24銭	▲45銭

(参考) 料金単価表·需要側(高圧·特別高圧)

■高圧・特別高圧 接続送電サービス料金

			単位	改定前単価 (①)	申請単価 (②)	差引 (②-①)	
	高圧標準 接続送電	基本	料金	1kW	663円30銭	663円30銭	±0銭
	サービス	電力量		1kWh	2円86銭	2円29銭	▲57銭
	高圧	基本	料金	1kW	663円30銭	663円30銭	±0銭
高圧	時間帯別 接続送電	雨力旱炒入	昼間時間	1kWh	3円10銭	2円45銭	▲65銭
	サービス	電力量料金	夜間時間	1kWh	2円62銭	2円09銭	▲53銭
	高点	高圧従量接続送電サービス			13円74銭	13円17銭	▲57銭
		ピークシフト割引		1kW	397円10銭	397円10銭	±0銭
	特別高圧 標準	 基本	料金	1kW	440円00銭	440円00銭	±0銭
	接続送電 サービス	電力量料金		1kWh	1円24銭	84銭	▲40銭
 特別高圧	特別高圧	基本	基本料金		440円00銭	440円00銭	±0銭
 141111111111111111111111111111111111	時間帯別 接続送電	 電力量料金	昼間時間	1kWh	1円31銭	86銭	▲45銭
	サービス		夜間時間	1kWh	1円17銭	81銭	▲36銭
	特別沿	高圧従量接続送電	けービス	1kWh	8円44銭	8円05銭	▲39銭
	ピークシフト割引			1kW	264円00銭	264円00銭	±0銭

(参考)料金単価表・需要側(低圧臨時)

■低圧 臨時接続送電サービス料金

			単位	改定前単価 (①)	申請単価 (②)	差引 (②-①)
		50VAまで		3円07銭	2円92銭	▲15銭
電灯	5	50VAをこえ100VAまで		6円13銭	5円84銭	▲29銭
臨時定額 接続送電	100VAをこえ!	500VAまでの場合100VAまでごとに	1送電サービス 1日につき	6円13銭	5円84銭	▲29銭
サービス	5	500VAをこえ1kVAまで		61円28銭	58円40銭	▲2円88銭
	1kVAをこえ	3kVAまでの場合1kVAまでごとに		61円28銭	58円40銭	▲2円88銭
電灯臨時 接続送電 サービス	基本料金	最初の6kVAまで	1送電サービス 1kVA	電灯標準接続 送電サービス (主開閉器契	電灯標準接続 送電サービス (主開閉器契	
		6kVAをこえる1kVAにつき		約)の料金率を 10%割増しし たもの	約)の料金率を 10%割増しし たもの	
		電力量料金	1kWh	8円88銭	8円38銭	▲50銭
	動力臨時定額	頁接続送電サービス	1kW 1日につき	82円59銭	77円81銭	▲4円78銭
動力臨時接続送電サービス	基本料金		1kW	動力標準接続 送電サービス (主開閉器契 約)の料金率を 20%割増しし たもの	動力標準接続 送電サービス (主開閉器契 約)の料金率を 20%割増しし たもの	_
		電力量料金	1kWh	6円15銭	5円62銭	▲53銭

(参考) 料金単価表・需要側(高圧・特別高圧 臨時・予備)

■高圧・特別高圧 臨時接続送電サービス料金

※単価は、消費税等相当額を含む。

		単位	改定前単価 (①)	申請単価 (②)	差引 (②-①)
高圧臨時 接続送電 サービス	基本料金	1kW	高圧標準接続 送電サービスの 料金率を 20%割増しし たもの	高圧標準接続 送電サービスの 料金率を 20%割増しし たもの	_
	電力量料金	1kWh	3円43銭	2円75銭	▲68銭
特別高圧 臨時 接続送電 サービス	基本料金	1kW	特別高圧標準 接続送電サー ビスの料金率 を20%割増し したもの	特別高圧標準 接続送電サー ビスの料金率 を20%割増し したもの	_
	電力量料金	1kWh	1円50銭	1円00銭	▲50銭

■高圧・特別高圧 予備送電サービス料金

		単位	改定前単価 (①)	申請単価 (②)	差引 (②-①)
高圧	予備送電サービスA	1kW	96円80銭	96円80銭	±0銭
	予備送電サービスB	1kW	185円90銭	185円90銭	±0銭
特別高圧	予備送電サービスA	1kW	77円00銭	77円00銭	±0銭
	予備送電サービスB	1kW	116円60銭	116円60銭	±0銭

約款別表2系統設備効率化割引の対象変電所等

■系統設備効率化割引 A

割引区分	割引対象変電所等	箇所数
A - 1	信貴変電所	1
A – 2	西京都変電所,南京都変電所,新生駒変電所,紀の川変電所,金剛変電所,御坊変電所, 淀川変電所,東大阪変電所,下穂積変電所,湖南変電所,洛南変電所,枚方変電所, 新寝屋川変電所,南河内変電所,南大阪変電所,北葛城変電所,喜撰山開閉所, 東大和開閉所,東近江開閉所,紀北変換所,鳴門変電所(四国電力送配電株式会社)	21
A – 3	北摂変電所,猪名川変電所,新綾部変電所,嶺南変電所,能勢変電所,奥多々良木変電所,伊丹変電所,北大阪変電所,東播変電所,西神戸変電所,北豊中変電所,小曽根変電所,湖東変電所,西大阪変電所,甲賀変電所,栗東変電所,泉南変電所,泉北変電所,海南港変電所,多奈川変電所,西淡変電所,京北開閉所,山崎開閉所,大河内開閉所	24

※割引 A:割引なし(24箇所)を含む基幹系統変電所等の合計数70箇所。

(参考)系統設備効率化割引における割引対象変電所等(2)

■系統設備効率化割引 B

■ 木机改加刈牛16割71 D			
割引区分	割引対象変電所等	箇所数	
B - 1	有馬変電所,城見変電所,松ケ丘変電所,真上川変電所,百百住変電所,水無賴変電所,富田変電所,上牧変電所,高槻変電所,末八川変電所,西天川変電所,五百住変電所,如是変電所,茨木変電所,春日変電所,下被精変電所,南灰木変電所,山田変電所,千里丘変電所,小野原変電所,四宿変電所,大水変電所,長興寺変電所,形樓方套電所,大學中変電所,四路電所,日期空電所,石橋変電所,九日の変電所,四上町変電所,四上町変電所,在出土田変電所,相上町変電所,四十里変電所,相上町変電所,医標子電所,佐井等変電所,持國空電所,由上町変電所,四十里変電所,植業変電所,招提交電所,牧野変電所,民國空電所,佐井等変電所,時間変電所,四上型変電所,向上型交電所,排野変電所,財子変電所,由大力変電所,医尾変電所,防力性交電所,連田変電所,明生型交電所,同日多電所,真砂変電所,別見直変電所,同的変電所,味生変電所,所有收方変電所,共業等变電所,同日多電所,真砂変電所,別見直変電所,所有收方変電所,味生変電所,以上工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	, 265	

(参考) 系統設備効率化割引における割引対象変電所等(3)

■系統設備効率化割引 B

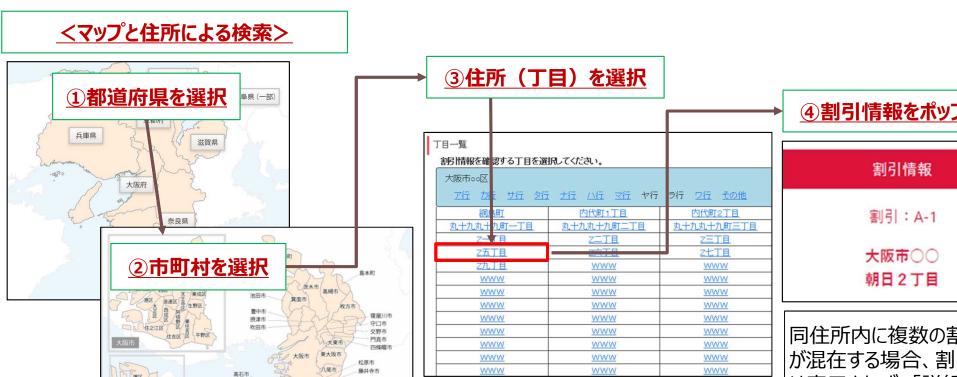
割引区分	割引対象変電所等	箇所数
B – 2	上本町変電所,因町変電所,江戸堰変電所,中之島変電所,真田山変電所,信濃橋変電所,立売堰変電所,滅除変電所,四員島変電所,北洋変電所,相間変電所,市岡変電所,本田変電所,泉尾変電所,泉尾変電所,簡비変電所,南思加島変電所,四日真島変電所,中川町変電所,相間変電所,有四変電所,向型で電所,有四変電所,前間変電所,高半変電所,一二次変電所,過域短空電所,一十四域電所,指的野変電所,計址変電所,一十四域電所,指的野変電所,多常数電所,是代数電所,是代数電所,是代数電所,光柱变電所,形式之茶屋空電所,即分型电所,是不要電所,使微变电所,形式之茶屋空電所,即位野変電所,是代数電所,是不要電所,要等电子或之工作。如此或量的,是一个工作工作,是一个工作工作。如此或量的,是一个工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作工作	285

※割引B:割引なし(308箇所)を含む変電所等の合計数858箇所。

(参考)系統設備効率化割引における割引区分検索について

- 当社は、発電側課金の制度開始に合せて、発電側課金における系統設備効率化割引の対象地域を 検索できるシステムを開発中です。
- 以下のとおり、マップや住所から検索できるツールを制度開始(2024年4月1日)までに、当社HPにおい て掲載予定です。

※以下は開発中のイメージ。



大阪狭山市

大子町

實田林市 河南町

千里赤版村

河内長野市

岸和田市

間切束

4割引情報をポップアップ

同住所内に複数の割引区分 が混在する場合、割引情報 は表示されず、「詳細はネット ワークサービスセンターへお問 い合わせください!等の案内 メッセージを出力予定。